

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	教育施設課長 松本 洋子	電話番号	0852-22-5909
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	特別支援学校校舎等整備事業		
目的	(1) 対象	特別支援学校の児童・生徒に対して	
	(2) 意図	より良い環境で学校生活を送れるようにする。	
事業概要	しまね特別支援教育推進プランを推進するため、児童生徒の増加に伴う学校施設の狭小化等に対応して仮設校舎リースや校舎の新增改築を行い、教育環境の整備・充実を図る。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	整備進捗率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	整備学校数/整備予定学校数	目標値		100.00	100.00	
			実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
指標名	式・定義	整備進捗率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,064,000	1,610,624
うち一般財源 (千円)	876,574	914,339

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>松江・出雲・浜田養護学校3校で仮設校舎6棟をリースするとともに、校舎等の新增改築整備事業を実施している。</li> <li>H27年4月出雲養護学校に雲南分教室を開設し、雲南圏域の生徒・保護者の通学の利便性が向上した。</li> </ul>
---

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>出雲養護学校雲南分教室の竣工（供用開始H27.4～）</li> <li>松江養護学校では、高等部生徒急増に伴い乃木校舎では2棟の仮設校舎で対応。乃木校舎に新たな校舎を整備、本校・乃木校舎の既存校舎改修を行う事業を実施中。</li> <li>H26は本校正門改修工事実施、既存校舎改修実施設計・乃木校舎の新校舎建設基本設計実施</li> <li>出雲養護学校では、高等部生徒急増に伴い3棟の仮設校舎で対応。新たにグラウンドや校舎を整備、既存校舎改修を行う事業を実施中。</li> <li>H26はグラウンド造成工事着手、新校舎及び既存校舎改修の実施設計実施</li> <li>浜田養護学校では、高等部生徒急増に伴い1棟の仮設校舎で対応。新たに校舎を整備、既存校舎改修を行う事業を実施中。</li> <li>H26はグラウンド造成工事着手、新校舎実施設計・既存校舎実施設計実施</li> </ul>
--

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備実施中の3校では、今後、新校舎の建設と既存校舎改修等の建築工事を予定している。</li> <li>長期間の事業実施中、児童・生徒の通学や学習環境の安全の確保に配慮した上で工事施工するとともに、学校運営に支障を来さないよう工事の円滑な実施に努める必要がある。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通常の学校運営を行いながら長期間の整備事業を行うこと。</li> <li>学校整備は工事の進捗状況が学校運営に直接影響を与えること。</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画に影響を与える事由が生じた場合にも学校運営や事業計画への影響を最小限にするため事業の進捗管理が必要である。</li> </ul>

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>実施中の3校については、これまで通り関係者の連携を密にとり円滑に事業を実施する。</li> <li>その他の学校については、児童生徒の将来推計や学校施設の老朽化等を総合的に勘案し、整備の必要性等について関係課で協議していく。</li> </ul>
--

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）

--